

「世界を舞台に、多様な仲間とともに挑戦を続ける」

葉宏嫣

Ye Hongyan

2024 年：早稲田大学卒業（政治学研究科ジャーナリズム専攻）

2024 年：三井物産(中国)有限公司に入社、企画業務部所属

2025 年：三井物産（上海）貿易有限公司糧油食品部に異動、現在に至る



Q：三井物産ならではの魅力は何だと思いますか。

A：

私が感じる三井物産ならではの魅力は、世界中のネットワークと多様な事業基盤を活かしながら、幅広い挑戦ができることです。

中国産食品原料の海外展開に携わっていますが、日々の業務では、中国のサプライヤー、日本のグループ会社、そして世界各地の三井拠点やお客様と連携しながら仕事を進めています。

その中で実感するのは、一つの案件であっても多様な知見やリソースを結集しながら取り組めることです。社内外に専門性を持つ多くの仲間がおり、そのネットワークを活用することで、一人では実現できないようなビジネスに挑戦することができます。

また、国や組織の枠を越えて様々なバックグラウンドを持つ人々と協働できる環境があり、常に新しい視点や学びを得られることも大きな魅力だと感じています。

Q：国内転勤の際、どのような経緯で転勤が決まったのでしょうか。

A：

入社後、まずはコーポレート部門で1年あまりの教育配属で、会社全体の運営や組織の仕組み、各部署との関わりについて幅広く学ぶ機会をいただきました。その経験を通じて、会社を支える基盤について理解を深めることができた一方で、次は事業の最前線で営業の実務に携わりたいという思いが強くなりました。

ちょうどその頃、社内で上海食料ポジションの募集がありました。事業内容や今後の成長機会に魅力を感じたため、南の出身で、上海でのキャリアも考えていたのもあり、自ら手を挙げて応募しました。会社からも新たな市場や事業に挑戦する機会をいただける環境だと感じ、ぜひ挑戦したいと思ったことが大きな後押しになりました。

Q：三井物産の「挑戦と創造」を支える4つのValues（「変革を行動で」、「多様性を力に」、「個から成長を」、「真摯に誠実に」）のうち、あなたが最も大切にしているのはどの部分ですか。

A：

私が最も大切にしているのは、「真摯に誠実に」です。

入社後はコーポレート部門と営業部門の両方を経験しましたが、どの部署においても、人との信頼関係が仕事の基盤であることを実感しています。

営業の現場では、お客様、サプライヤー、社内関係者など多くの立場の異なる方々と関わります。例えばクレーム対応の際には、お客様のご要望を正確に受け止めるだけでなく、サプライヤーの状況も理解した上で、双方にとって納得感のある解決策を模索することを心掛けています。

また、問題が発生した際には、良い情報だけでなく課題やリスクについても率直に共有し、関係者とともに解決に取り組むことを大切にしています。日々の小さな積み重ねこそが長期的な信頼につながると考えており、どんな場面でも「真摯に誠実に」を忘れず仕事に向き合うよう心掛けています。

Q：入社してから、一番成長した、やりがいがあったと思うことは何ですか。

A：

私が最もやりがいを感じたのは、新規ビジネスの立ち上げに携わった経験です。

当初は業界や商品に関する知識も限られていたため、関係会社の専門家から学びながら、市場調査やサプライヤー調査を進めました。また、どのような観点でサプライヤーを評価すべきかを整理し、自ら情報を収集しながら理解を深めていきました。

さらに、海外拠点とも連携しながら各市場のニーズや特徴を把握し、関係者と試行錯誤を重ねながらゼロから事業の可能性を探っていきました。

その結果、小規模ながらも成約につなげることができた時には大きな達成感がありました。何もない状態から関係者と協力しながら仮説を立て、事業の形を作り上げていくプロセスを経験できたことは、私にとって大きな成長につながったと感じています。